

会 議 議 事 録

1 会議名	令和5年度第2回長岡市公立大学法人評価委員会
2 開催日時	令和5年8月7日(月)午後3時から午後3時50分まで
3 開催場所	米百俵プレイス ミライエ長岡5階 スタジオ
4 出席者名	<p>(委員) 中村委員長 水澤委員 楨委員</p> <p>(説明のために出席した関係者)</p> <p>公立大学法人長岡造形大学 佐々木理事長 公立大学法人長岡造形大学 馬場学長 公立大学法人長岡造形大学 河村副理事長 公立大学法人長岡造形大学 久島事務局長 公立大学法人長岡造形大学 安達事務局次長 公立大学法人長岡造形大学 白崎経営企画室長 公立大学法人長岡造形大学 佐藤財務課長</p> <p>(事務局) 長岡市地方創生推進部 長谷川部長 長岡市政策企画課 早川課長補佐 長岡市政策企画課 相川係長 長岡市政策企画課 浅野主任</p>
5 欠席者名	草間委員、並木委員
6 議事	令和4年度業務実績に関する評価書(案)について
7 審議結果の概要	議事は評価書案のとおり承認された。
8 審議の内容	
事務局・政策企画課課長補佐	<p>本日は、お忙しいところお集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>これより令和5年度第2回長岡市公立大学法人評価委員会を開催いたします。はじめに長谷川地方創生推進部長よりご挨拶申し上げます。</p>

事務局・地方創生 推進部長	(部長挨拶)
事務局・政策企画 課課長補佐	<p>本日の評価委員会は、委員5名のうち3名が出席されておりますので、長岡市公立大学法人評価委員会条例第5条第3項の規定を満たしていることをご報告いたします。なお、このたびの評価委員会は、長岡造形大学の佐々木理事長、馬場学長、河村副理事長、久島事務局長、安達事務局次長ほか大学事務局職員からご出席いただいております。</p> <p>議事に入る前に、前回の第1回評価委員会の委員間の意見交換内で並木委員から「受託研究又は共同研究の取組の具体例を聞きたい」旨の御発言がありましたので、大学側から御説明をお願いします。</p>
学長	(資料3により説明)
事務局・政策企画 課課長補佐	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、議事の進行を中村委員長にお願いしたいと思います。中村委員長、よろしく願いいたします。</p>
委員長	<p>それでは、進行を務めさせていただきます。</p> <p>議事を進める前に、今回の評価委員会の議事録署名人を決めたいと思います。水澤委員と楨委員のお二人にお願いしたいと思いますと考えておりますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(水澤委員、楨委員 了解)</p> <p>それでは議事に入りたいと思います。今日の議事は1件です。</p> <p>議事 令和4年度業務実績に関する評価書案について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局・政策企画 課課長補佐	(資料1-1～資料1-3、資料2により説明)
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様からご質問・ご意見などありましたらお願いします。</p>
委員	コロナ渦で学生が非常に大変な状況の中、一人ひとりにきめ細かな

	<p>対応をされてきました。これは地方大学の優位性だと思いますし、長岡という土地で大学生活を過ごしてよかったという思いが、また長岡に戻ってこようという気持ちにつながるのではないかと思いますので、一人ひとりにきめ細やかな対応をしていくことはこれからも求められることだと思います。</p> <p>また、街なかに思い出を持ってもらうことも大事なことだと思います。以前からデザインを中心に商店街とコラボレーションなどもされていますが、ミライエ長岡がオープンしたことで、さらに学生の大学と街なかの行き来が増え、まち全体を自分たちの活動のフィールドにして活躍していくことを期待しています。</p>
委員長	委員の皆様、ほかにご意見はございますか。
委員	<p>普段より長岡造形大学は真面目な大学というイメージを持っていますし、特に問題はないと思っていますが、先々を見据えて2点お話しさせていただきます。</p> <p>1点目は、評価書（案）24 ページ通番②、学生の授業内容満足度についてです。評価が年間平均 4.54 とあり、非常に良い評価となっています。あらゆる組織で共通することではありますが、今後は、従来型のコンプライアンスの監査のあり方を今一度見直されても良いのではないかと思います。企業では社員のエンゲージメントを外部機関に評価してもらっています。内部調査では問題を把握しきれないこともあるかと思いますが、内部調査と異なる評価が出てくることもありますので、外部評価も参考にしながら、より良い風土を作っていく必要があるのではないかと思います。</p> <p>2点目は、21 ページ通番 29、学生の問題の把握・相談に対する支援についてです。現在も十分に実施されていることと思いますが、学校に直接言いづらいというケースもあるのではないかと思います。そのようなケースに対応できる体制、例えば直通電話での相談などが必要な時代になってきているのではないかと思います。</p> <p>また、個人的な意見としては、「第4 業務運営等に関する目標」についても A 評価で良いのではないかと思います。評価基準については以前の評価委員会で議論された点ですので、評価書（案）に同意します。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。では、私からも意見を申し上げます。様々な業績あげていることは間違いないですが、それをどのように世</p>

	<p>の中にアピールするか、エビデンスをしっかりと出していくかということも大事だと思います。例えば、指標評価の研究に関して、外部研究資金の獲得件数は外から見てもわかりやすいですが、伸びしろ、これから頑張っていかななくてはならないところもあるのではないかと感じています。</p> <p>中期計画を進めていく中で、大学の有り様が大きく変革してきて、「造形表現としてのデザイン」から、より社会にアピールできる部分として「問題発見解決プロセス」という言葉が使われてきました。この点について、目に見える形で成果をあげていくことを期待します。ミライエ長岡やNaDeCなどを活用しながら、「問題発見解決プロセス」を「造形表現としてのデザイン」と合わせて、融合することで、長岡造形大学らしいアピールをしていくことが問われているのではないかと思います。</p> <p>私の感覚では、もっと世界に羽ばたいて良いのではないかと、その糸口を掴みかけているのだろうと思っています。もちろん地域貢献も大切ですが、人材も含め、共同研究も含めてより日本、世界に羽ばたいていくことを期待します。</p> <p>また、SOGIという言葉について、本評価委員会で重要性を改めて感じましたので、知らない方にもわかるよう「性的指向・性自認」の注釈を入れさせていただきました。</p>
委員	<p>世界に羽ばたくという話に関してお聞きします。</p> <p>企業では、大学の研究員の方に一定期間、籍を置いていただき、一緒にプロジェクトを進めるということをしております。</p> <p>大学でも、海外を含め広く様々な方から多彩な講義をしていただき、いろいろな話を聞けたら良いのではないかと思いますのですが、雇用や採用の問題で難しいのでしょうか。</p>
学長	<p>教員に関しては、専任教員、特任教員で雇用が多少異なります。</p> <p>特任教員は学外で事務所を構えていたり、デザイナーとして社会で活動していて、学外での活動を大学の授業や指導に活かしていただいています。</p> <p>最近の先生方の意見を聞く中で、特任教員は今後ますます増えるのではないかと考えていますが、先生方も多忙ですので、移動時間を含めどのように調整して続けていくのかということなどを深堀していく必要はあると思います。</p> <p>非常勤講師も多数おありまして、先生方の知見により学生の指導にプ</p>

<p>委員長</p>	<p>ラスになり、成果がでています。また、研究員という制度があり、一定期間本学で研究活動を行い、共同研究等に一緒に取り組んでもらうということもできています。</p> <p>教員の雇用については他大学も様々考えていられるようですし、時代とともに変えていく必要があると思っています。教員選考委員会中でも、次の世代の教育をしてもらううえでどのような形が良いのかという意見が出始めています。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、評価委員会として、この評価書で決定したいと思います。委員の皆様よろしいでしょうか。</p> <p>(委員一同 異議なし)</p> <p>では、事務局は、評価書を市長に報告してください。</p> <p>予定していた議事は以上となります。</p> <p>最後に大学を代表して、佐々木理事長、馬場学長のお二人から一言ずついただければと思います。</p>
<p>理事長、学長</p>	<p>(理事長、学長 挨拶)</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、私の進行はここまでとさせていただきます。ご協力いただき、ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。</p>
<p>事務局・政策企画課長補佐</p>	<p>中村委員長ありがとうございました。</p> <p>次第の2その他としまして、事務局からご連絡いたします。</p> <p>まず、本日ご審議いただいた評価書につきましては、今日の結果を市長へ報告するとともに、9月議会に報告いたします。</p> <p>この第2回委員会を持ちまして、今年度の評価委員会は終了となります。</p> <p>お忙しいなか評価委員会に出席いただきありがとうございました。</p> <p>また大学の業務運営に関して多くの意見をいただきまして、本日、</p>

	<p>評価書を決定することができました。重ねて御礼申し上げます。</p> <p>他に皆さんから何かございますでしょうか。</p> <p>それでは、これで「令和5年度第2回長岡市公立大学法人評価委員会」を終了いたします。</p> <p>ありがとうございました。</p>
<p>上記議事録は、その記載内容が事実と相違ないことを確認し、ここに署名する。</p> <p>委 員</p> <p>委 員</p>	
<p>9 会議資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 次第・出席者名簿 ○ 資料1-1 令和4年度業務実績に関する評価書（案） ○ 資料1-2 令和4年度業務実績に関する評価（事務局案）に対する意見 ○ 資料1-3 令和4年度業務実績に関する評価（事務局案）の修正箇所について ○ 資料2 意見書 ○ 資料3 受託研究・共同研究 関係資料 	